

第1回 多久市総合計画審議会 議事要旨

1 日時

令和7年9月30日（火）14時00分 ～ 15時40分

2 場所

本庁4階 大会議室西

3 出席者

【委員】 総合計画策定委員（20名）※資料1参照
（欠席） なし

【事務局】 総合政策課、有限責任監査法人トーマツ

4 議事要旨

- 市長あいさつ
- 審議会委員自己紹介
- 会長、副会長の選任とあいさつ
- 諮問
- 協議事項

（1）策定方針について

策定方針について（資料3）、事務局から説明を行った。

（2）策定スケジュールについて

策定スケジュールについて（資料4）、事務局から説明を行った。

（3）現行計画の振返り検証について

現行計画の振返り検証について（資料5）、事務局から説明を行った。

（4）多久市の現状分析について

多久市の現状分析について（資料6・7）、事務局から説明を行った。

（5）意見交換

審議会委員からの主な意見等は以下のとおり。

委員意見	事務局回答
・そもそも指標を設定する必要があるのか。基準値も水準が不明。指標も無理やり設定したとを感じるものが多い。	・基準値については策定時の年度の数値を基準としている。 ・指摘の通り、指標が正しかったかの振り返り検証が必要と考えている。例えば障害者の相談件数は、相談者がいないことがいいことなのか、相談数が増えればいいのかなど検証していく必要がある。
・どちらかというふるさと納税の寄付者数より金額を知りたい。今後の5年の計画で項目を変えていくことはできるか。	・審議会でそのような意見をいただいて、事務局より案として示したい。104の指標で達成状況を判断しているが、今後の5年間でどのような指標で見ていくかの意見をぜひいただきたい。
・市民の最も関心のあるのは人口減少と考える。それに関する指標は後期計画で立てることができるか。 ・大きな課題のため見通しが難しいと思うが、細かな目標を達成することで人口減少の課題をクリアする考えということでのよいのか。	・現行計画27ページに人口ビジョンを掲載している。目標人口に不足する人数を確保するための施策を各分野で立てている。
・今後さらに少子高齢化が進行していくことが予想されるが、人口減少に対抗する5年後への具体策を後期計画に載せていく必要があると考える。 ・多久市の歴代の総合計画は同じようなパターンで作られているので、できることできないことはわかってきていると思う。	・委員の皆様にはぜひ意見をいただければと思う。
・市民も総合計画を知っている人が少ない。絵に描いた餅とならないよう、やるべきことはやる、やらないものはやらないとメリハリをつけて策定してほしい。	・絵に描いた餅とならないようしっかり策定していく必要があり、そのためには委員の皆様の協力が必要となる。今後ご協力をお願いしたい。
・現行計画の34ページの施策体系について、施策目標は変えず施策を変えていくということだが、人口を増やすことに特化した項目を追加してほしい。人口を減らさないためにどうするのか、という具体的な施策がないからわかり辛くなっている。	・様々な施策を行っているが、特に現行計画127ページの総合戦略は、東京一点集中といわれる中、地域の資源を活用して人の流れを生むという主旨で策定している。
・人口は毎月確実に減っている。たまに増える場合は外国人の移住ばかり。極端に減っている地域や維持している地域は把握しているのか。	・町単位での人口推移は把握している。集落単位や、内訳などは別途提示する。

・どんな人が移住してきたかを詳しく調べる必要があるのではないか。移住の理由を分析することで役立てられることがあるのではないかな。	・（分析自体の必要性はあるものの、）人口を気にしすぎていることが国の失敗だったと地方創生 2.0 で明言されている。自治体の人口を増やすというのは結局パイの取り合いになってしまう。目標人口は立てず、一人一人のウェルビーイングに注目していくのが他自治体でも最近の時流となっている（策定支援事業者：有限責任監査法人トーマツで回答）。
・アンケートの回収率が過半数を超えていないと参考にならないのではないかな。	・前回実施のアンケートでは 3 割程度であり、今回はそれを超える回収率を目指した。
・意見徴収についてはアンケートの他に別の方法はないのか。	・若い世代の意見を徴収するため、学校（多久高校・義務教育学校）へのワークショップ等を実施している。